

# 淡路島のカミキリムシ類

堀 田 久

The Cerambycidae of Awazi Is.

By Hisasi Horita

古くから島の昆虫は、分布学的に多くの学者の研究対象となつてきたが、淡路島の昆虫相については意外な程何も知られていない。昆虫に関する文献も、まとまつたものは今までの所みあたらない状態である。これは淡路島が本土に極く接近した位置にあり、面積も広い島としての特徴が少ないことと、九州方面の島々や千島列島等に比較して、地理的な興味もうすかつたためと思われる。

私は昭和21年以来、毎年島内の各地に出かけて主に蝶類を採集し、その結果は本誌前号(Vol. 3, No. 3)に発表した。同時に他の昆虫類もいくらか採集してきたので、ここに甲虫類のうち、カミキリムシ科についての目録を作成してみた。しかしながらこれまでの調査は極めて不十分なものであり、淡路に産するカミキリムシ科の一部にすぎないが、今後の調査研究に少しでも役立てば幸いと思ひ敢て発表することにした。

今手許にある採集品に基いて、各種の採集地名と採集年月日を掲げ、併せてこれまでの観察結果を簡単に記述した。尚和名と学名は保育社の原色日本昆虫図鑑(甲虫編)によつたものであり、又一部採集品の同定に宝塚昆虫館の標本を参考にさせていただいた。

## Cerambycidae カミキリムシ科

### Prioninae ノコギリカミキリ亜科

#### 1. *Prionus insularis* Motschulsky

ノコギリカミキリ

洲本市安乎町(23—Ⅵ—1947, 23—Ⅶ—1947)

6~8月頃各地に普通に見られ、燈火によく飛来する。幼虫はスギ、アカマツ等に寄生する。一名ノコギリムシという。

### Disteniinae ホソカミキリ亜科

#### 2. *Distenia gracilis* Blessig ホソカミキリ 先山(23—Ⅶ—1951)

今までに先山で1頭採集したのみである。一名ホソバカミキリという。

### Aseminae マルクピカミキリ亜科

#### 3. *Spondylis buprestoides* Linné クロカミキリ 洲本市安乎町(23—Ⅵ—1947, 10—Ⅶ—1951)、先山(8—Ⅷ—1947)

最も普通の種で7~8月頃各地に出現し、燈火にも

よく飛来する。幼虫はスギ、アカマツ等に寄生する。一名ムネマルクロカミキリという。

### Cerambycinae カミキリ亜科

#### 4. *Leontium viride* Thomson ミドリカミキリ 洲本市安乎町(18—Ⅵ—1947, 30—Ⅶ—1947)

6~7月頃平地の花上に見られるが個体数はあまり多くない。

#### 5. *Xystrocera globosa* Olivier アオスジカミキリ 洲本市安乎町(10—Ⅶ—1950, 5—Ⅷ—1951)

7~8月頃見られる普通種で、燈火によく飛来するが、昼間はあまり見かけない。夜間活動性のようである。一名セスジカミキリ、フタスジマルムネカミキリ、コウシユンマルクピカミキリという。

#### 6. *Pseudaolesthes chrysothrix* Bates

キマダラカミキリ

先山(30—Ⅶ—1948)

7~8月頃先山に見られるが、個体数は少なく他ではまだ採集していない。夜間活動性で燈火に飛来する。一名キマダラヤマカミキリという。

#### 7. *Mallambyx raddei* Blessig ヤマカミキリ 洲本市安乎町(29—Ⅶ—1951)、洲本市由良町(1—Ⅷ—1951)

7~8月頃、クヌギやカシワの木に見られるが個体数はあまり多くない。幼虫はクリ、クヌギ、カシワ等の材部を加害する。一名キヤマカミキリ、ナラカミキリ、クヌギカミキリムシという。

#### 8. *Callidium rufipenne* Motschulsky

ヒメスギカミキリ

洲本市安乎町(15—Ⅳ—1947)

この種は成虫で越年し翌早春外界に出るが、洲本市安乎町で、4月頃スギの枯木に多数集まつていた。幼虫はスギ、ヒノキ等を加害する。

#### 9. *Xylotrechus chinensis* Chevrolat

トラフカミキリ

洲本市安乎町(14—Ⅶ—1946)

今までにカボチャの葉上にいたのを1頭採集したのみである。とまつている所は一見、スズメバチのようである。一名トラカミキリ、クワトラカミキリ、クワノトラフカミキリ、クワトラムシ、ハチカミキリ、

オオトラムシという。

10. *Chlorophorus diadema inhirsutus*

Matsushita クロトラカミキリ

洲本市安乎町 (25-VI-1947)

最も普通の種で7~8月頃各地に多産し、家の中まで入ってくることもある。

11. *Chlorophorus annularis Fabricius*

タゲトラカミキリ

洲本市安乎町 (24-VI-1947, 31-VI-1947, 29-VI-1951)

最も普通の種で7~8月頃各地に多く、家の中へ入って来るともよくある。

12. *Chlorophorus japonicus Fabricius*

エグリトラカミキリ

洲本市安乎町 (26-VI-1947, 23-VI-1948)

普通の種で5~7月頃各地に多い。5~6月には本種のみであるが、7月に入るとクロトラカミキリと一語に見られる。一名コクロトラカミキリ、トラカミキリという。

13. *Chlorophorus quinquefasciatus Castelnau*

et Gory ヨツスジトラカミキリ

洲本市安乎町 (21-VI-1946)、三龍山 (25-VI-1952)

7月頃見られるがあまり多くない。一名イツスジトラカミキリという。

14. *Purpuricenus temmincki Guérin-*

Ménéville ベニカミキリ

洲本市安乎町 (23-VI-1948)

5月頃平地の花上になりに見られる。幼虫は竹を加害し、9月頃成虫となつてそのまま越冬して翌早春外部に出るため、冬期に竹を割ると成虫が見られることがある。

15. *Purpuricenus spectabilis Motschulsky*

ヘリグロベニカミキリ

洲本市安乎町 (20-VI-1946)

6月頃平地に見られるが、個体数は少ないようであり、洲本市安乎町以外ではまだ採集していない。

フトカミキリ亞科 Lamiinae

16. *Monochamus subfasciatus Bates*

ヒメヒゲナガカミキリ

先山 (8-VI-1951, 3-VI-1952, 23-VI-1952)

8月頃先山には普通で、伐採木に集まっているのをみかけるが、他ではまだ採集していない。

17. *Cypricola luxuriosa Bates* センノカミキリ

先山 (4-VI-1949, 12-VI-1952)

8月頃先山に見られるが極めて少なく、他ではまだ採集していない。この種は体の大きさ、斑紋等の変化

にとむが、採集品は大型で上翅は灰色の地に黒色の帯状紋がある。

18. *Anoplophora malasiaca Thomson*

ゴマダラカミキリ

洲本市安乎町 (1-VI-1947, 23-VI-1947)

極めて普通の種で、6~8月頃平地にも山地にも見られ、カミキリムシ類のうち個体数が最も多い。クワ、イチジク、ミカン等によく集まり、幼虫はこれ等の木を加害する。一名ホシカミキリ、クワゴマダラカミキリ、ゴマカミキリ、ヤナギカミキリ、ケキリムシという。

19. *Uraecha bimaculata Thomson* ヤハズカミキリ

洲本市安乎町 (16-VI-1948)、先山 (12-VI-1952)

5~8月頃見られるが個体数はあまり多くない。燈火に飛来することがある。

20. *Monochamus alternatus Hope*

マツノマダラカミキリ

洲本市安乎町 (20-VI-1947, 20-VI-1947, 24-VI-1947)

普通種で6~7月頃各地に見られ個体数も多い。昼間活動するが夜間燈火にも集まる。幼虫はアカマツ、クロマツ等の衰弱木に寄生する。一名マツノトビロカミキリ、マダラカミキリ、アミメヒゲナガカミキリという。

21. *Batocera lineolata Chevrolat*

シロスジカミキリ

先山 (17-VI-1951)

6月頃見られる普通種であるが、淡路には割合少ないようである。幼虫はクヌギ、クリ、シイ類、ヤナギ類等に寄生する。一名カミキリムシ、オオカミキリ、シラフカミキリ、クリカミキリという。

22. *Apriona germari japonica Thomson*

クワカミキリ

洲本市安乎町 (18-VI-1947, 24-VI-1947)

最も普通な種で7~8月頃各地に見られる。成虫はクワの木には特に多く集まり、その他ヤナギ類、イチジク、ビワ、ナシ、ミカン等にも多く集まる。幼虫はこれ等の木を加害する。一名ビワムシ、クワノミドリカミキリという。

23. *Mesosa hirsuta Bates* カタシロゴマフカミキリ

先山 (23-VI-1951)

今までに先山で1頭採集したのみであり、他ではまだ見かけたことがない。

24. *Niphona furcata Bates*

ハイイロヤハズカミキリ

1947年5月頃、洲本市安乎町で枯竹を割っていて、本種の成虫をみかけ採集したことがあつたが、標本は

破損して現在手許にない。幼虫はマダケの枯桿を加害する。一名ハイロヤハズカミキリ、タケノハイロカミキリ、ムギカミキリという。

25. *Pterolophia rigida* Bates

アトモンサビカミキリ

洲本市安乎町 (15-IV-1947)

4月にスギの枯木にいるのを採集したことがあるが、これは成虫で越冬したものらしい。幼虫がスギを加害するかどうかは確かめていない。

26. *Pterolophia annulata* Chevrolat

ワモンサビカミキリ

洲本市安乎町 (16-VI-1951)

6月頃見られるが、極めて少なく洲本市安乎町以外ではまだ見かけたことがない。一名ボーリングカミキリという。

27. *Pterolophia caudata* Bates

トガリシロオビサビカミキリ

洲本市安乎町 (20-VII-1946)、先山 (23-VII-1951, 12-VII-1952)

7~8月頃平地にも山地にも見られる普通種で、成虫はウバメガシによく集まる。幼虫はカシ類、フジ、イチジク等の枯枝に寄生する。一名オオサビカミキリという。

28. *Asaperda rufipes* Bates

キクスイモドキカミキリ

洲本市安乎町 (18-VI-1947)

6月頃草原に見られるが個体数は少なく、洲本市安乎町以外ではまだ採集していない。

29. *Eutetrappa ocelota* Bates ヤツメカミキリ

先山 (23-VII-1951)

個体数は少ないようで、今までに先山で1頭採集したのみである。原型の体色は灰緑黄褐~黄褐色であるが、採集したのは灰緑色の *f. maculithorax* Pic であった。

30. *Glenea relictata* Pascoe シラホシカミキリ

先山 (30-VII-1948, 12-VII-1952)  
7~8月頃先山に見られるが個体数は少なく、他ではまだ採集していない。一名チャイロカミキリという。

31. *Oberea vittata* Blessig ホソキリンゴカミキリ

洲本市安乎町 (26-VI-1947)

6月頃平地に見られるが個体数は少ないようで、洲

本市安乎町以外ではまだ採集していない。

32. *Nupserha marginella* Bates

ヘリグロリンゴカミキリ

三熊山 (25-VII-1952)、常隆寺山 (11-VII-1952)

7~8月頃山地には普通に見られるが、平地ではまだ見かけたことがない。採集品は腹面の胸板が暗色を帯びている。

33. *Phytoecia rufiventris* Gautier

キクスイカミキリ

洲本市安乎町 (19-VI-1947)

成虫は6月頃平地に見られ、キクやヨモギに集まるが個体数はあまり多くない。幼虫は有名なキクの害虫たある。一名キクスイという。

以上これまで採集してのは僅かに5亜科33種にすぎないが、今後も調査研究を続けたいと思うので、同好諸賢の御教示をいただければ誠に幸いである。(7-VII-1957)

参 考 文 献

1. 北隆館発行：日本昆虫図鑑
2. 保育社発行：原色日本昆虫図鑑(甲虫編)
3. 平山修次郎：原色甲虫図譜
4. 中条、林：四国の天牛類(1)、宝塚昆虫館報 No. 78

淡路島



山本義丸氏の名誉

1957年度、動物学会、近畿支部より氏の優れた研究に対して表彰状並びに研究費が受与された。本会の名誉のために、ともに祝福したい。(室井)